



美麗慧女轉生成爲醜肥極惡玉莖卑鄙變態譚老



どうせ
すぐ
喰うん
だよ？

面白い
じゃん！



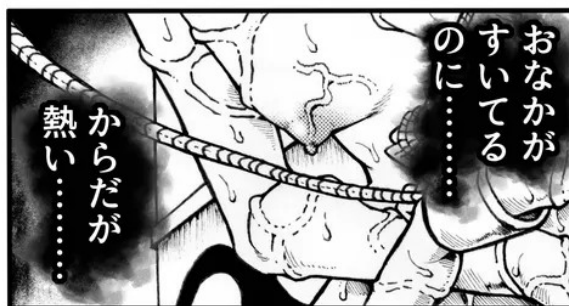
なにを
しておる！





…まえは
どんだん
感覚が
薄れて…

……
意識さえ
とおのいて
いたのに……



おなかが
すいてる
のに……

からだ
が熱い……

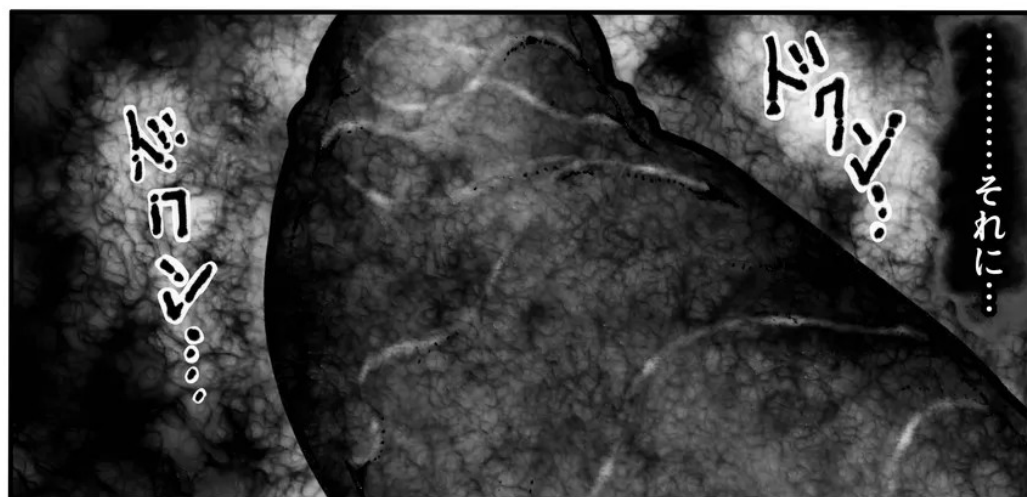


今は
すべての
感覚が
はつきり
と……

ひもじさ
まで
はつきり
と……



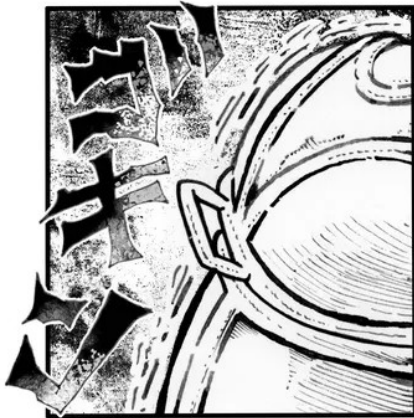
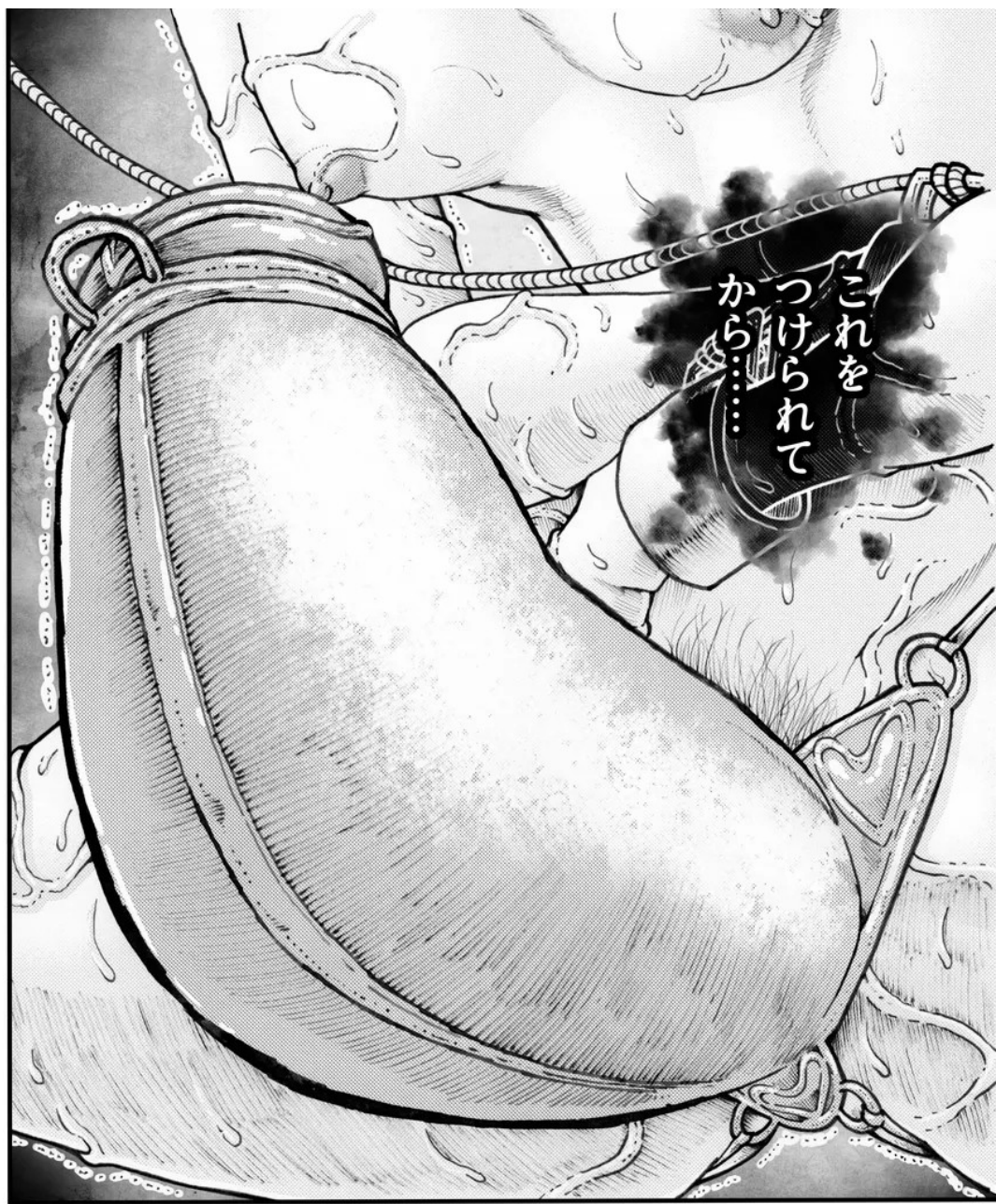
はあ
はあ



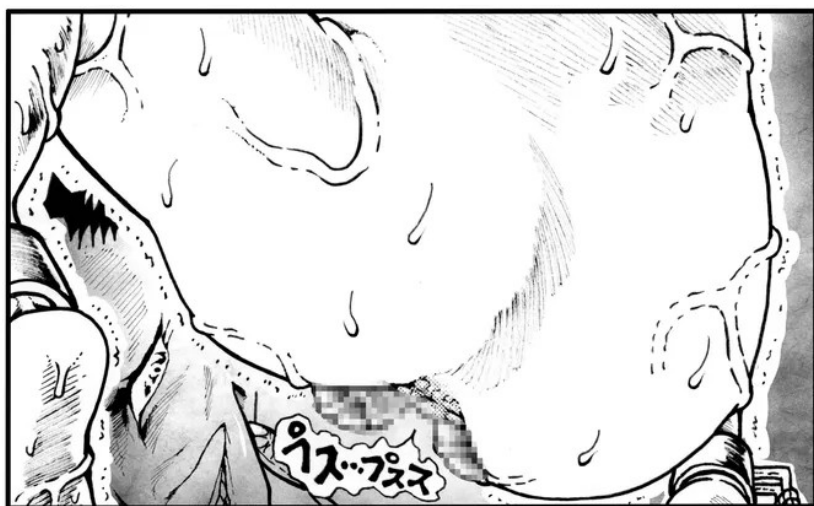
……それに……

ドクン…

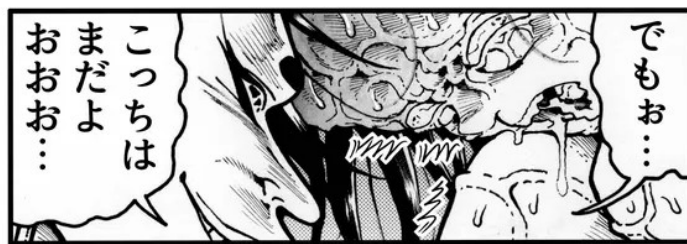
ドクン…













きょうは

ツンタンさん…

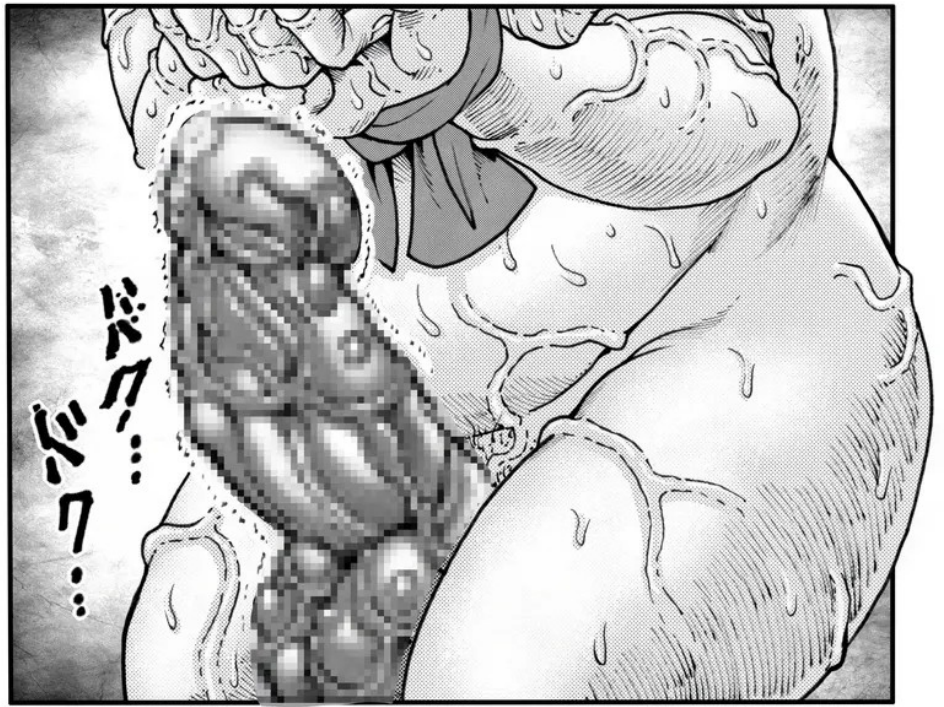
アナタが

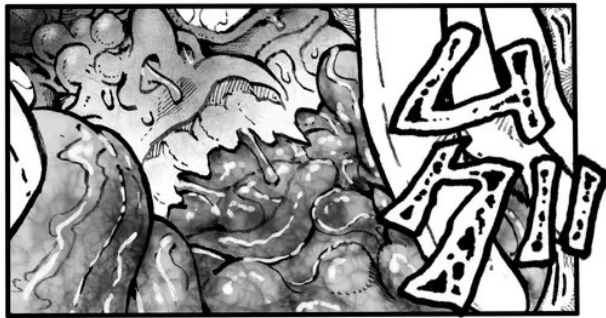
きづかっていた

ムイちゃんを

連れてきましたよ……









やっぱり
はじめの精通汁は
懸想^{けそうび}人の
顔面にこそ
ぶっかけたいと...



ほうら
ムイちゃん
.....

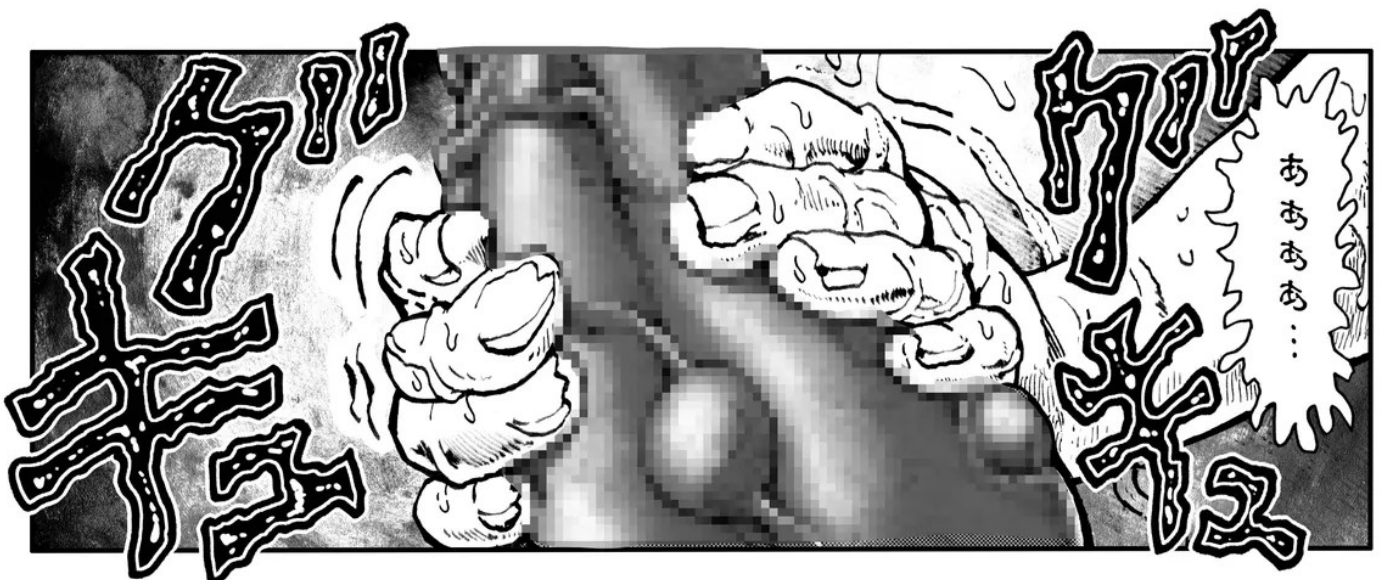
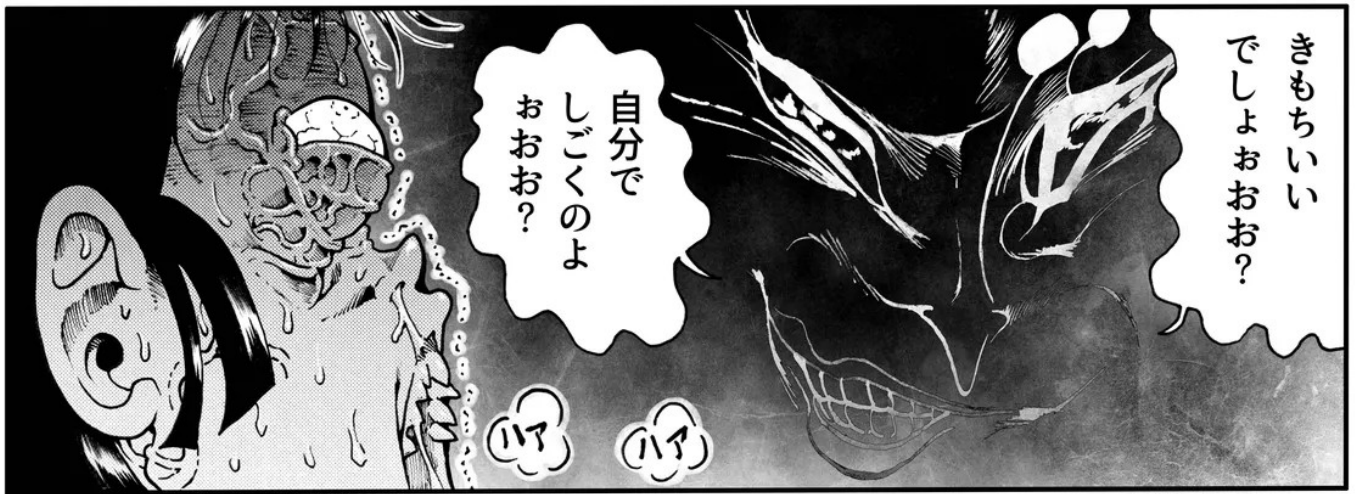
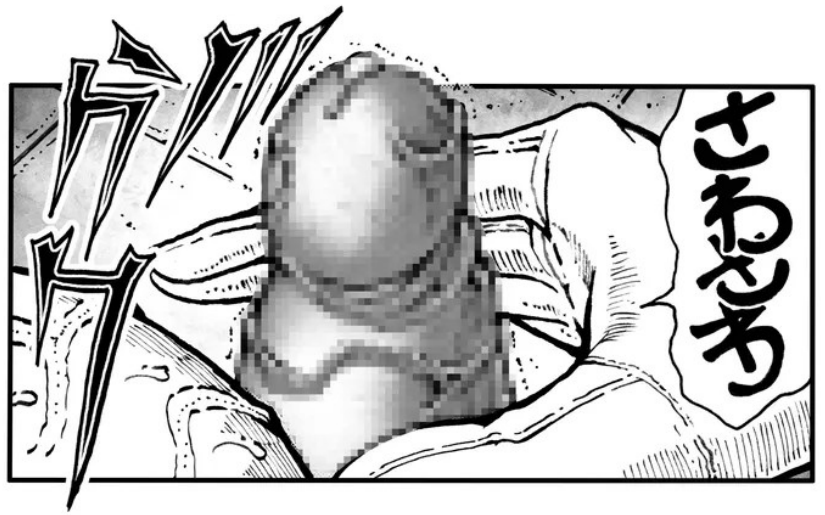
禁欲を
しいてきた
悪しき大人に:
うまれかわった
正直さを
あらわになさい

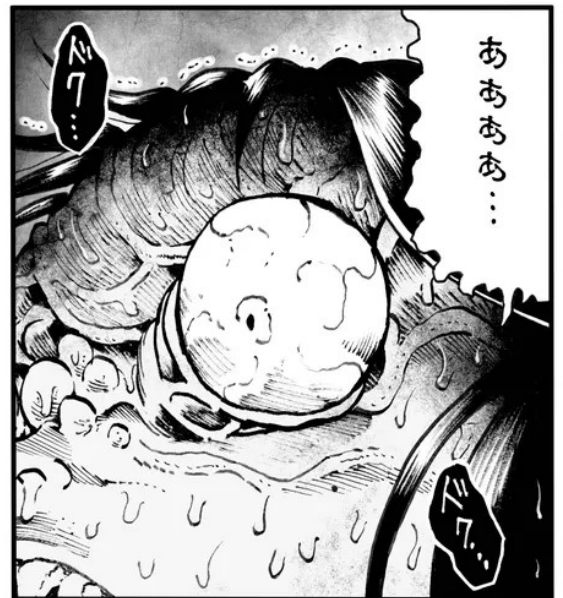


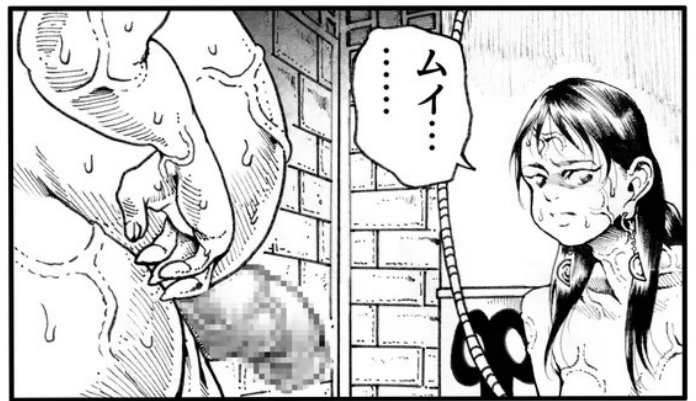
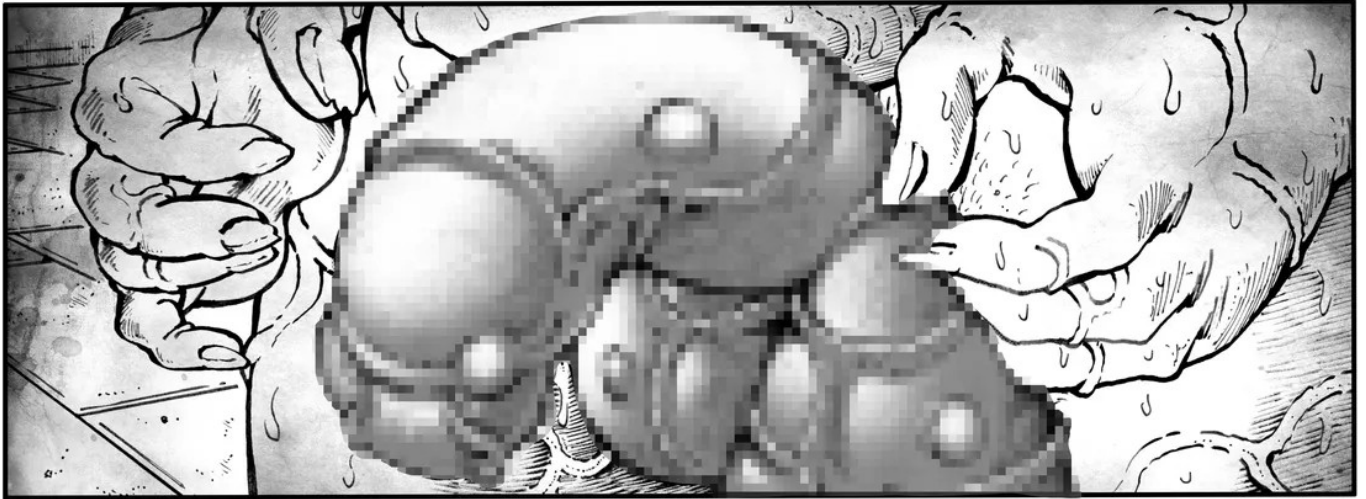
あああ...

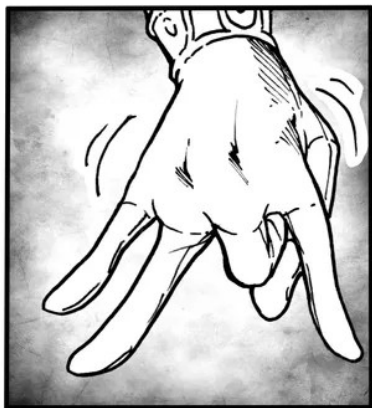
ツンタン
.....



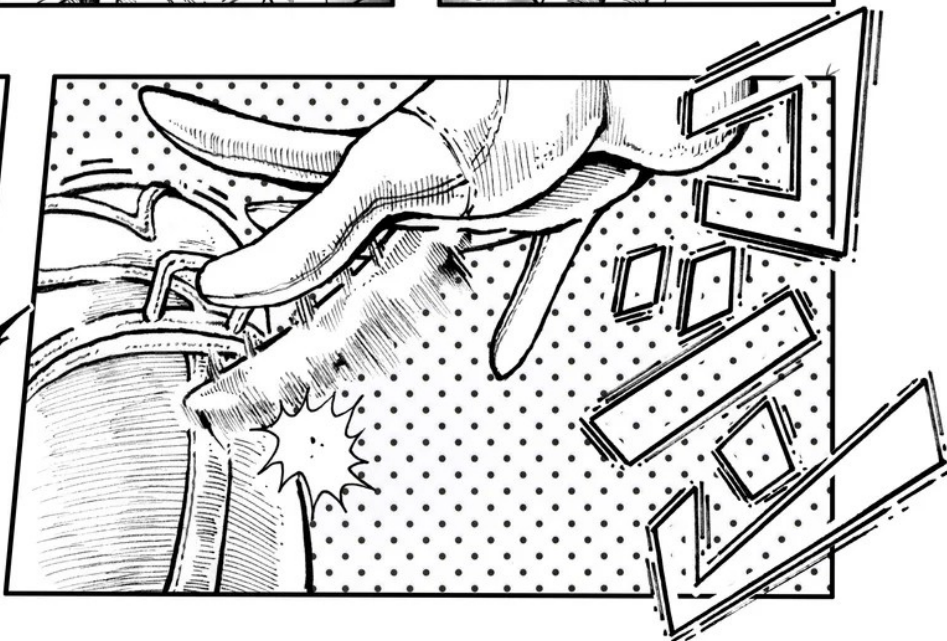








あつ…
!!



ああ…

あああ
……



偉そうなことを言って
ツンタンさん……

キシ…

キシ…

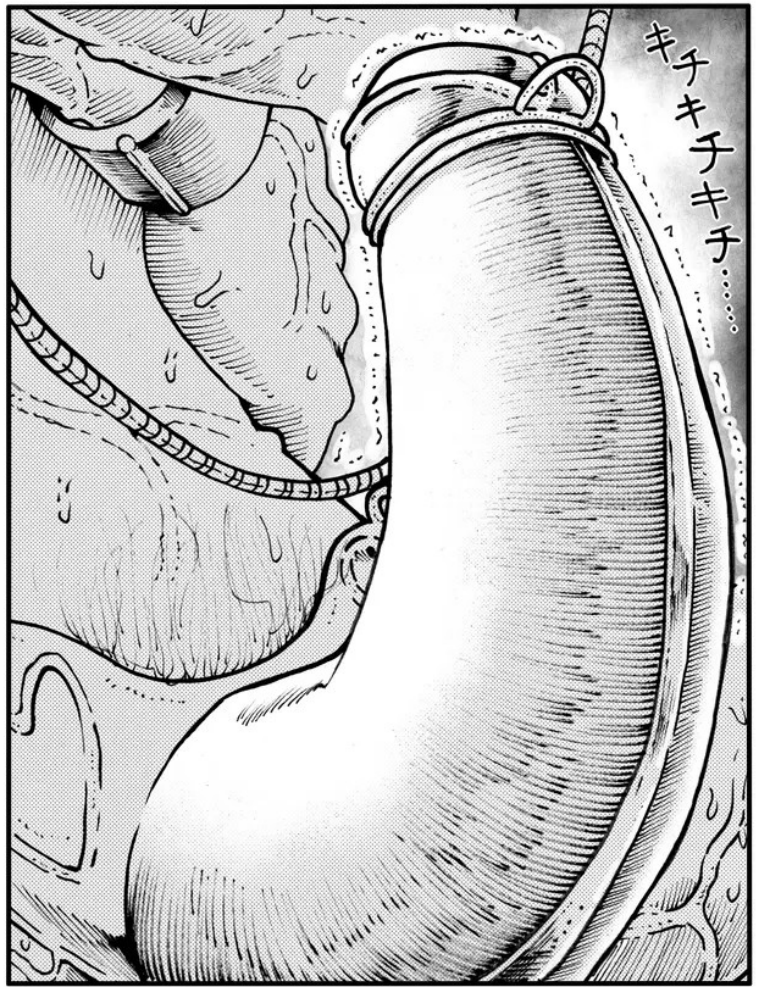
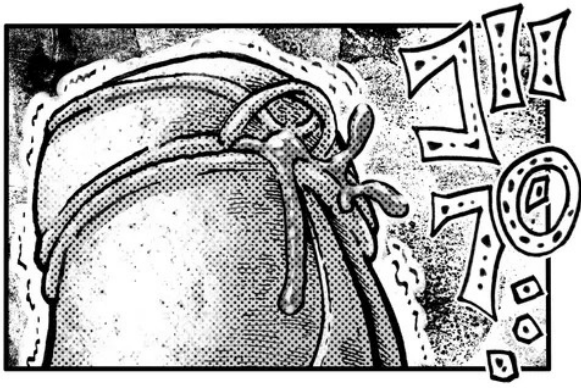
チンコパンパンに
してるんだからあ

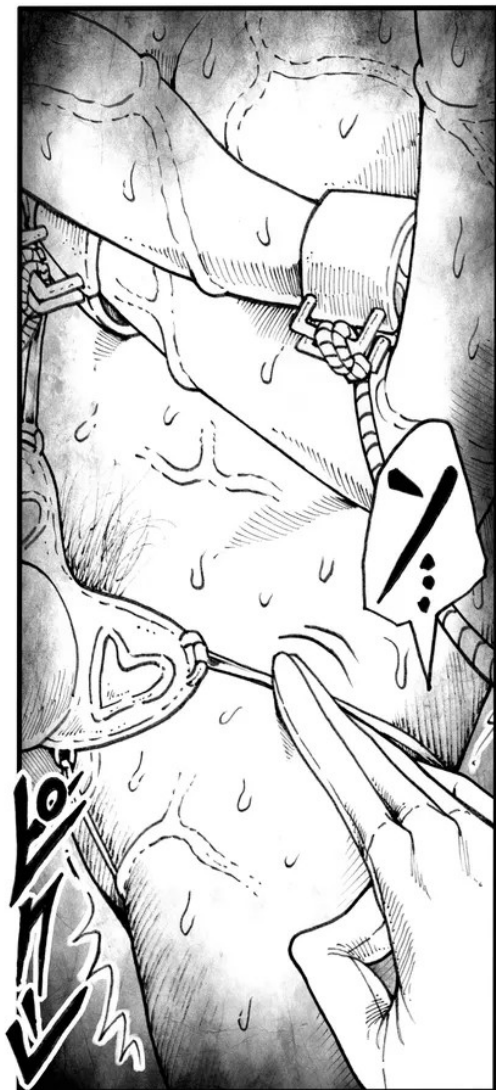
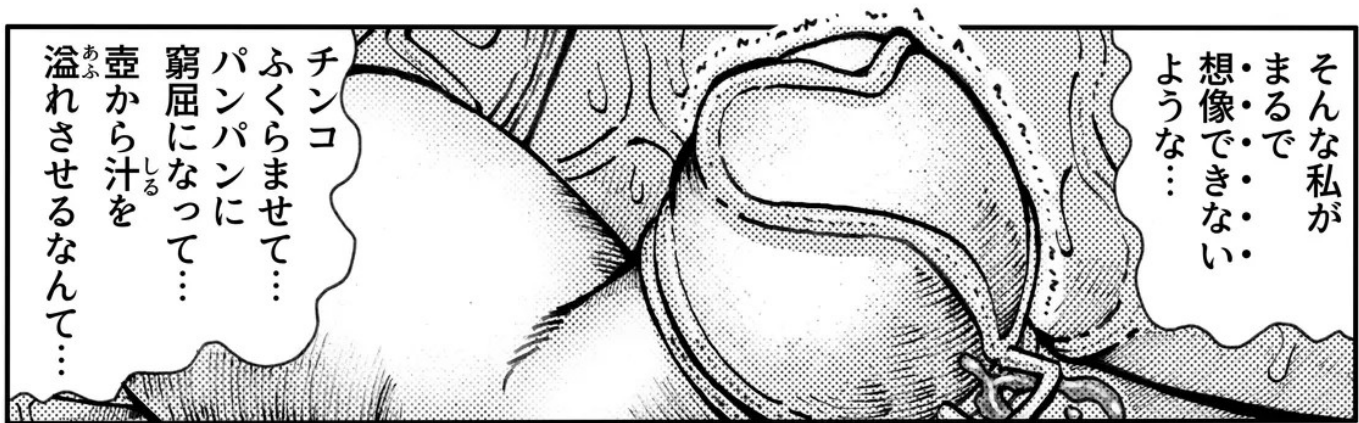


ほおら？

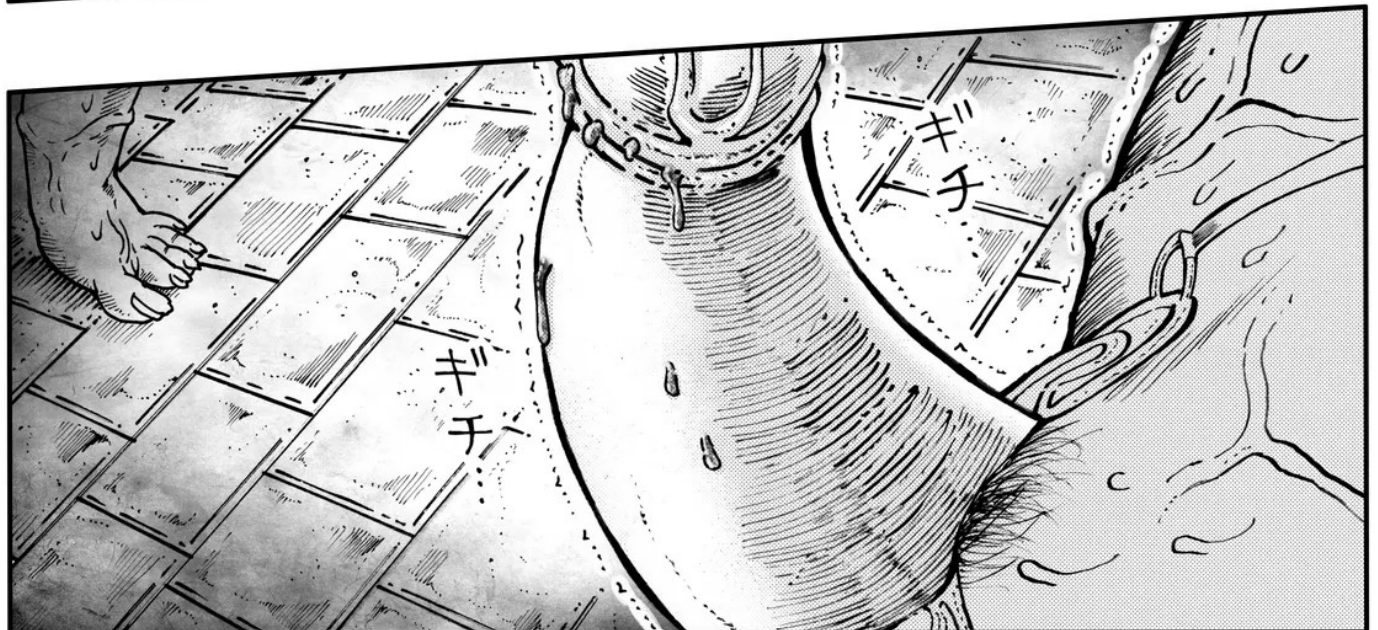
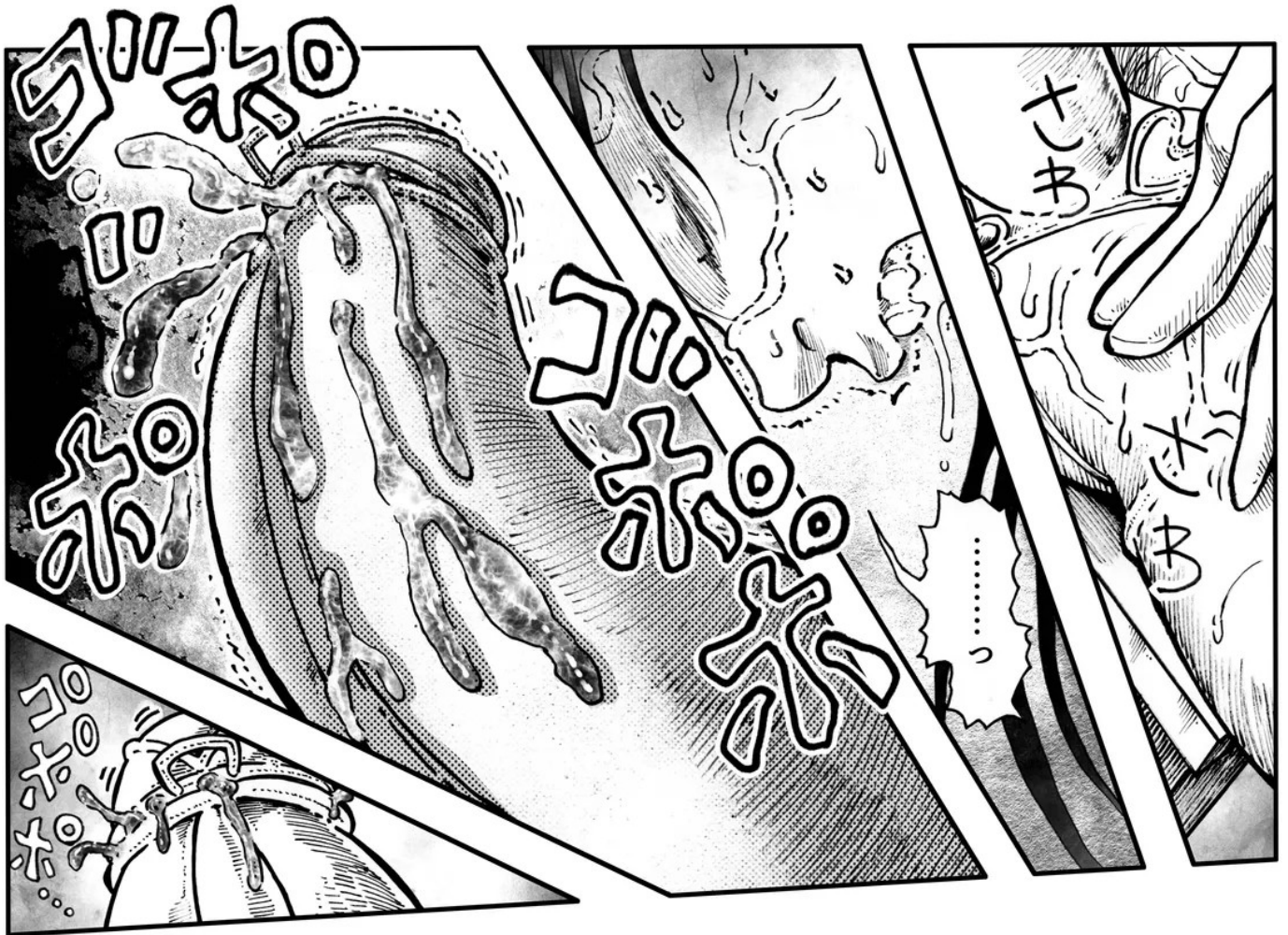
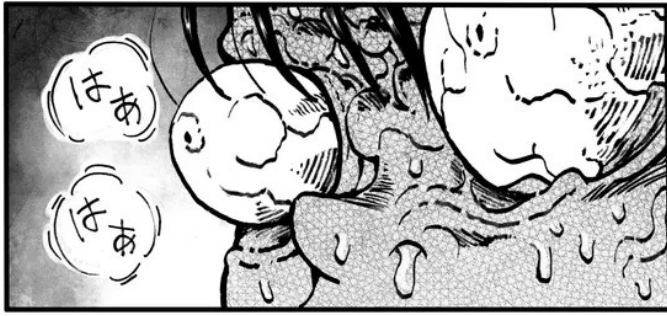
このせつなそうな
つやっぱい顔こそ
見逃さないでえ











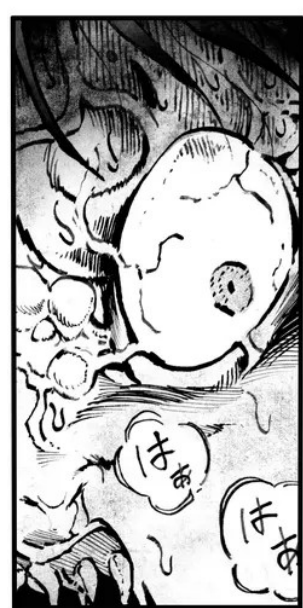
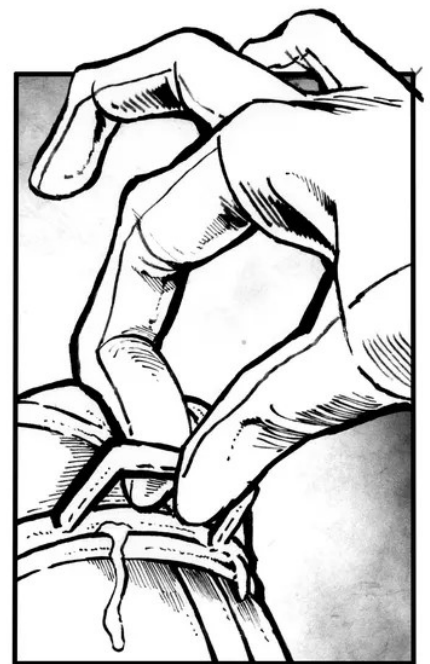
ああら？
もう壺から
汁がたれ
なくなつて

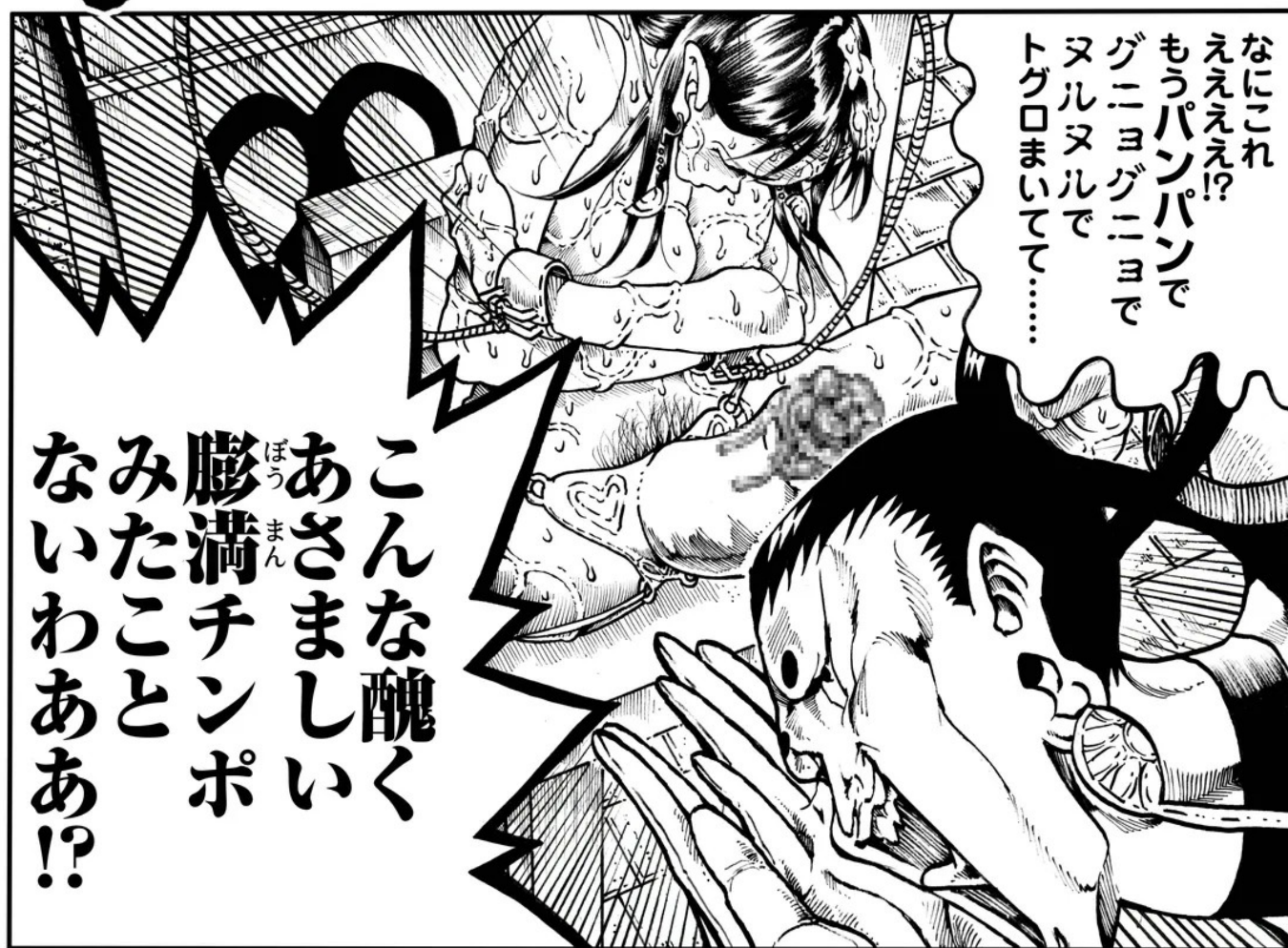


…一体なかは
どうなつて
るのかしら？



…腰をまるめて
苦悶の表情を
うかべている
りゆうも
ひよつとしたら
このなかに
あるのかしらあ？



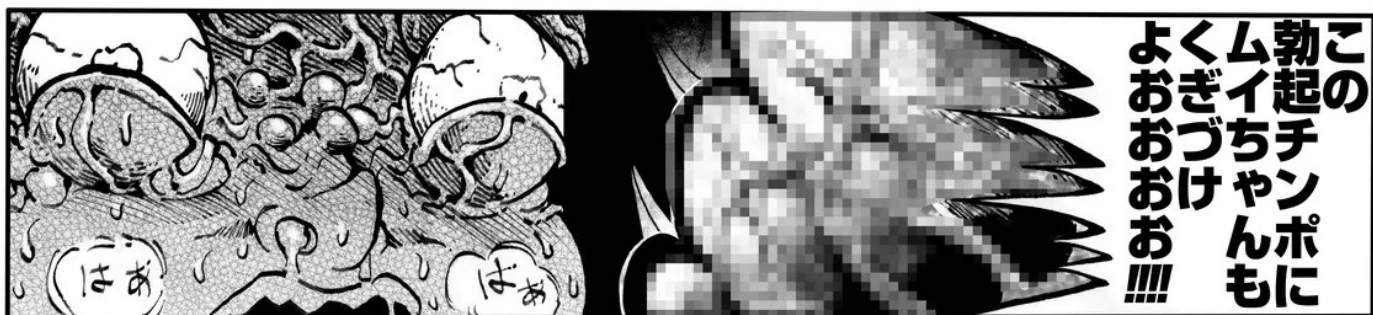






このおんな!!
尋常ならざる
勃起力で
壺を割った
わああああ!!

どれだけの
興奮してる
のよおお!!!



この
勃起チンポに
ムイちゃんも
くぎづけ
よおおお!!!

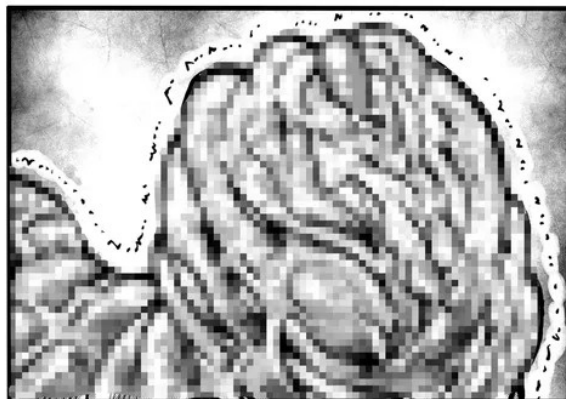


……あら?
ただキンタマは
ツルツル
なのねえ……
でもパンパン……

イヤらしくて
濃ゆくて
まぎれもなく
あなたのなかで
発酵した
おぞましい汁が
充滿してる
のねえええ……

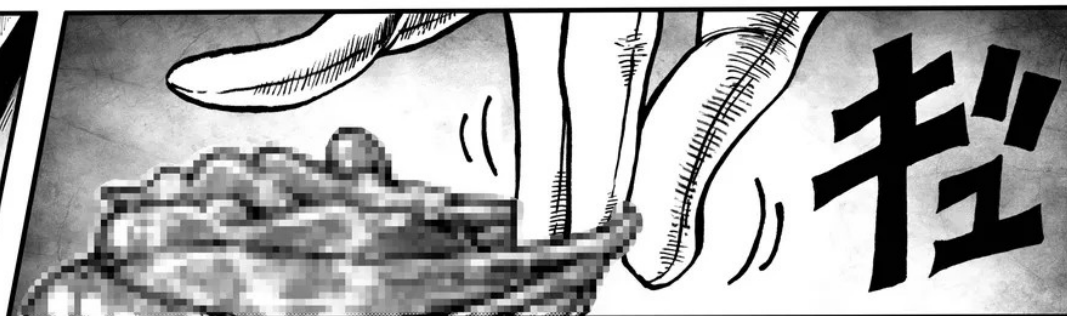


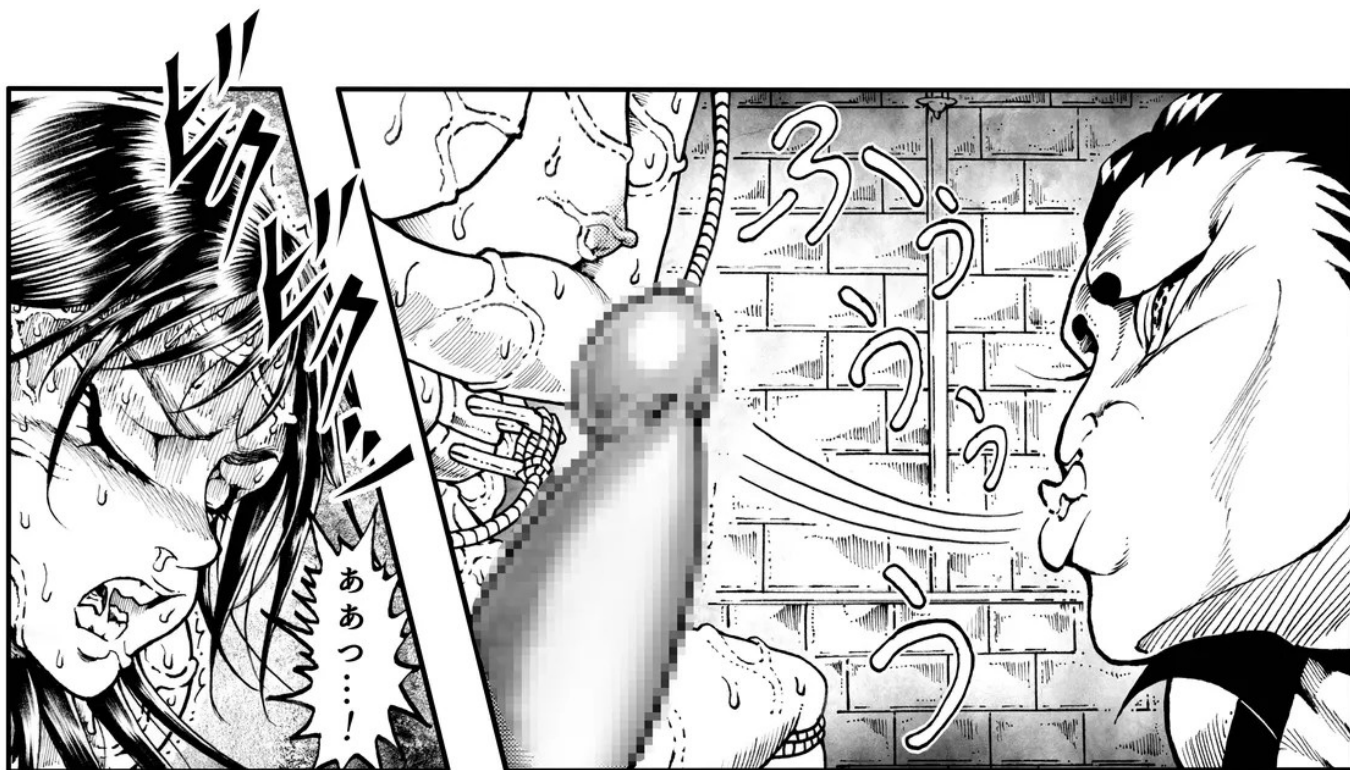
もおおおお!
ムイちゃん
よりも
立派じゃ
なああああ!!

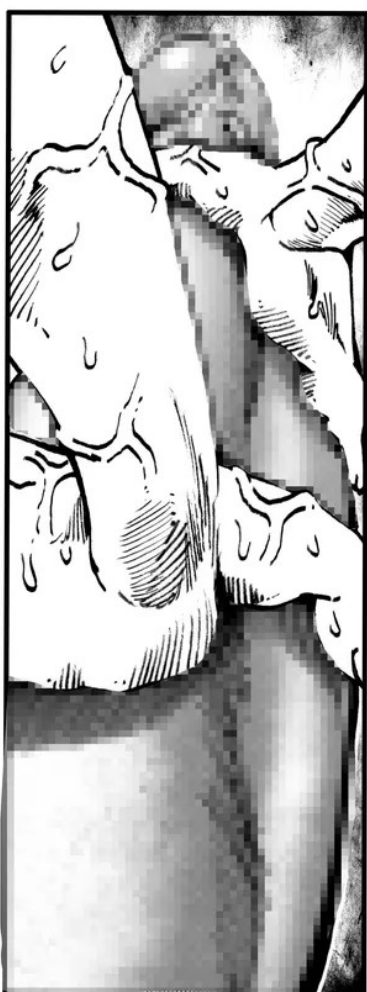


ひよっとして...

まさか...











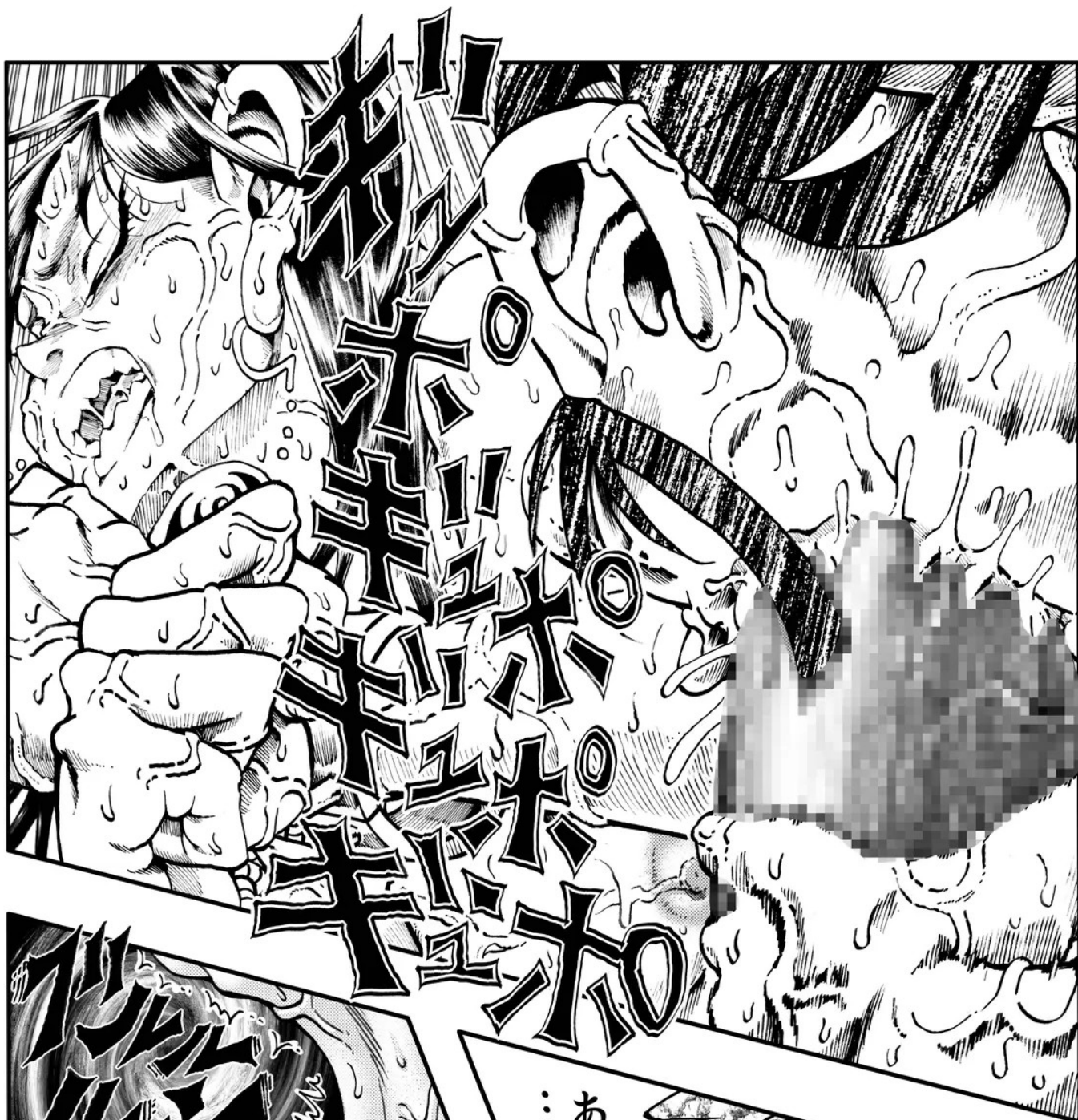


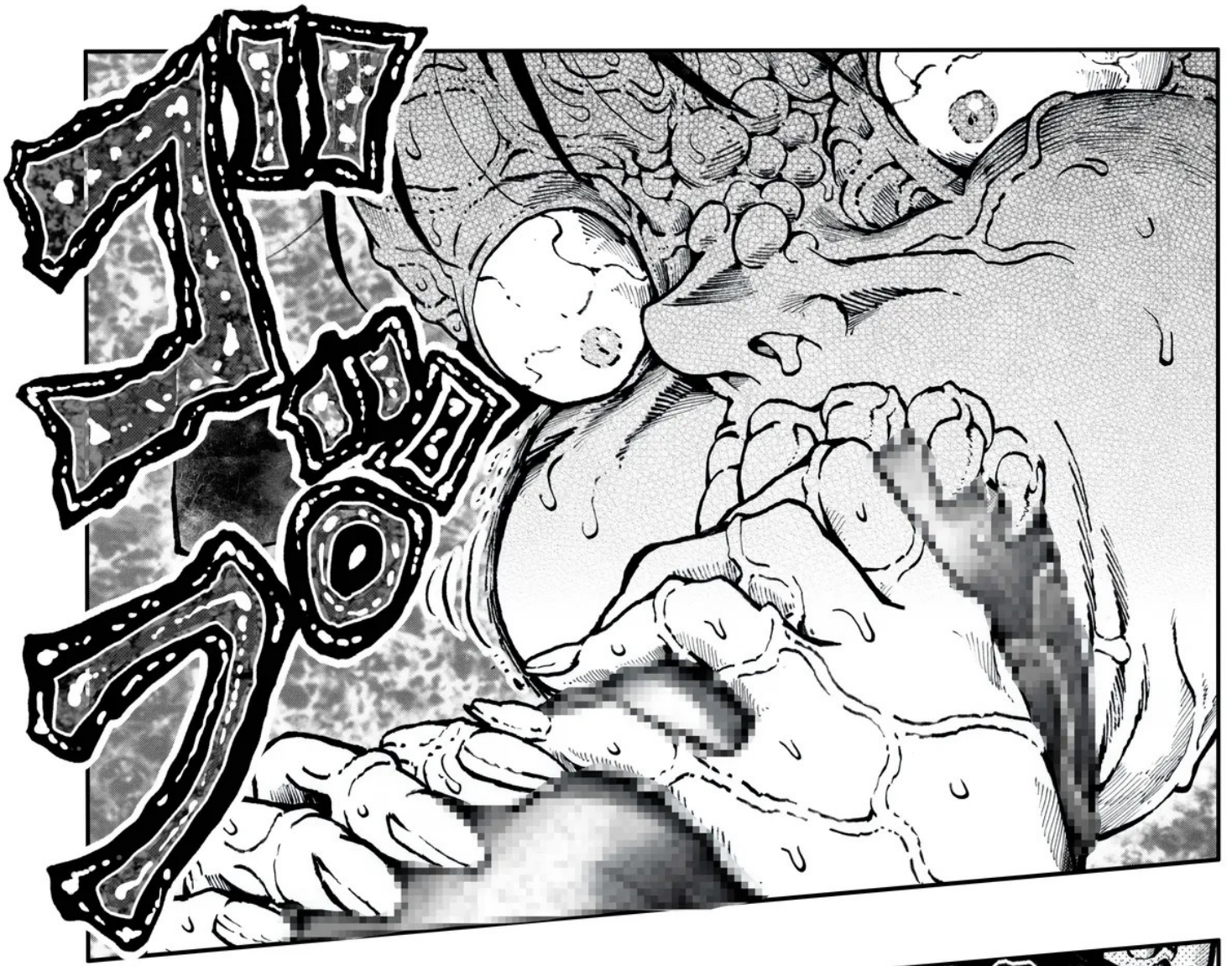
こみあげて
くるでしょう？
だしたい
でしょう？
だして
ごらんさあ！
きもち
いいわよおお…



そして……
だせばだすほど
アナタの棹肉も
いやらしくあさましく
そだっていく
のよおおおお……









最高の
きぶん
でしょう？

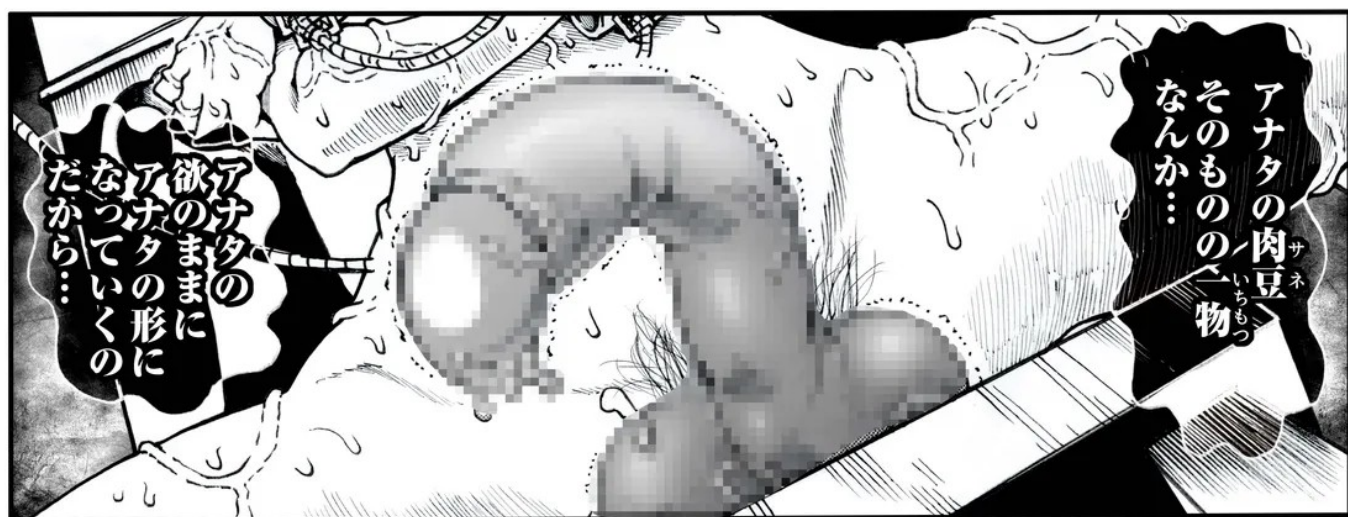
…ほんと
おもう存分
出してえ
えええ…



もっと
肉のかわきは
増すわよお

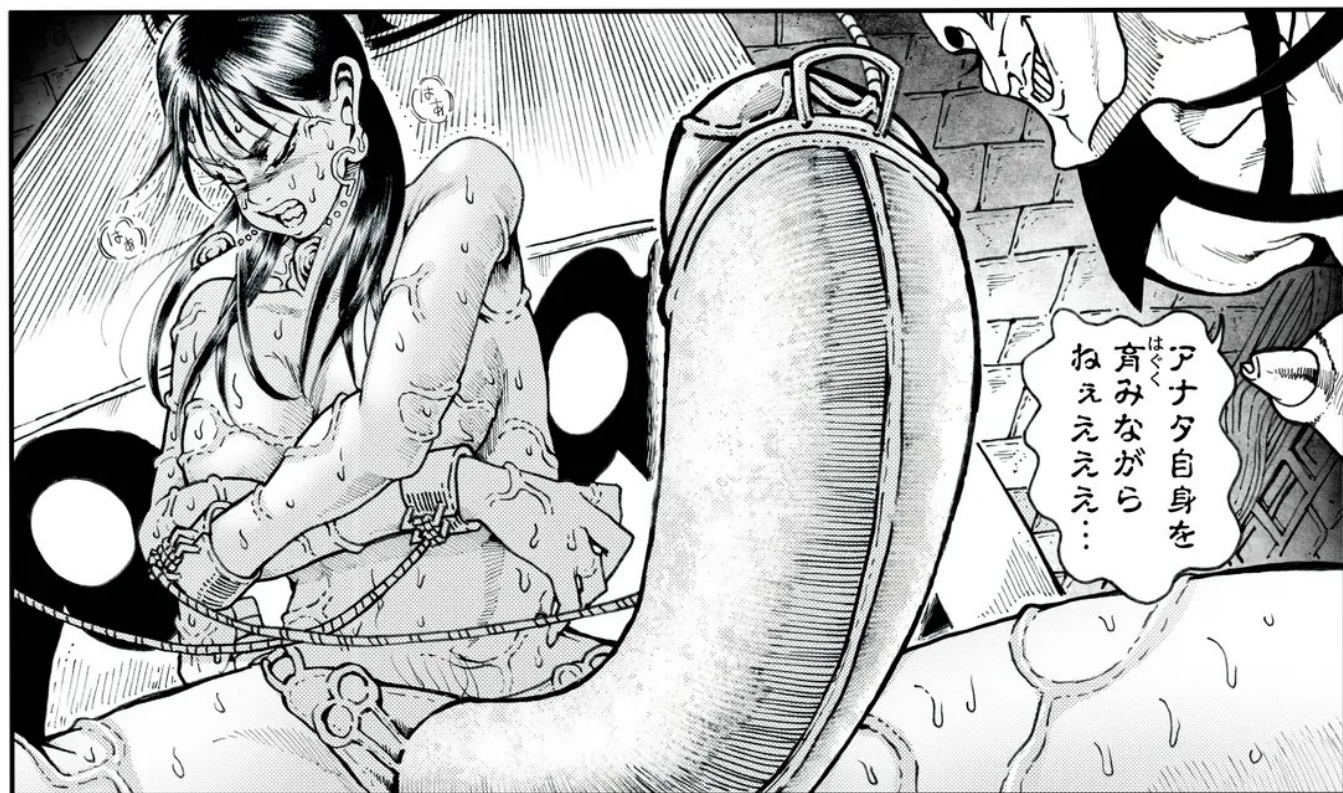
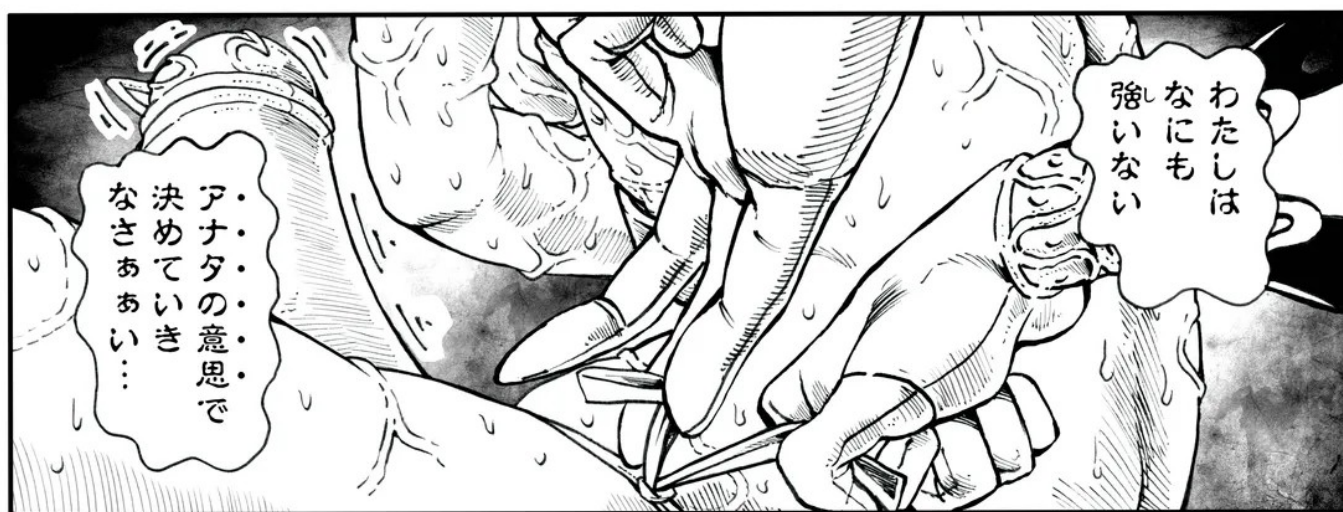
こんなに
たつぷり
臭汁くさじゅうだし
ちやつたら

フフ…
フフ…

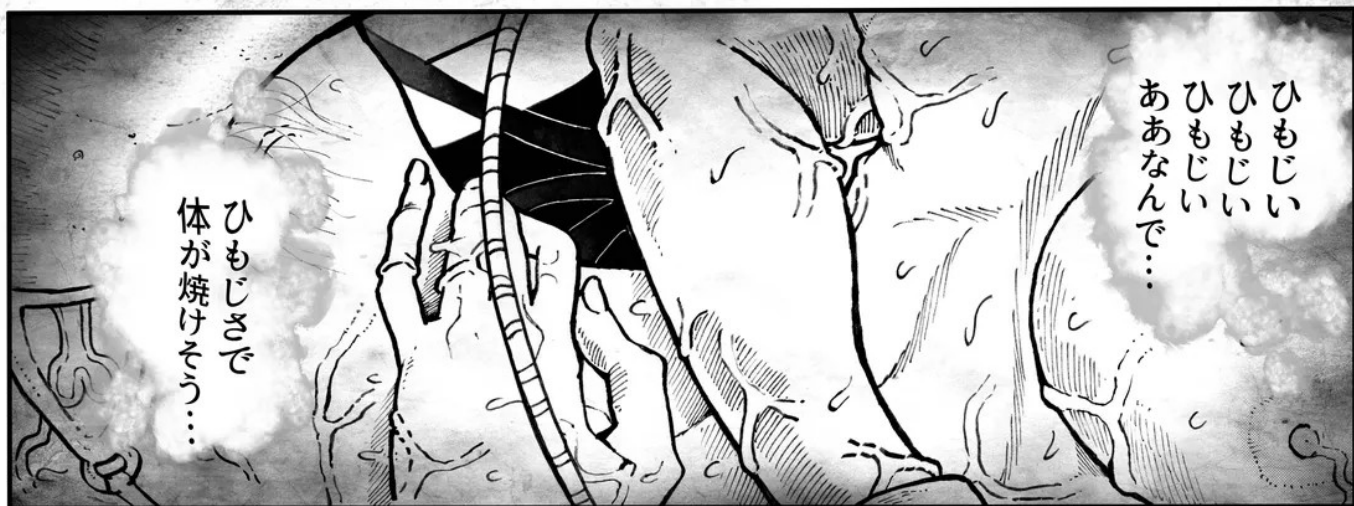


アナタの肉豆サネ
そのものの物
なんか…

アナタの
欲のままに
アナタの形に
なっていくの
だから…



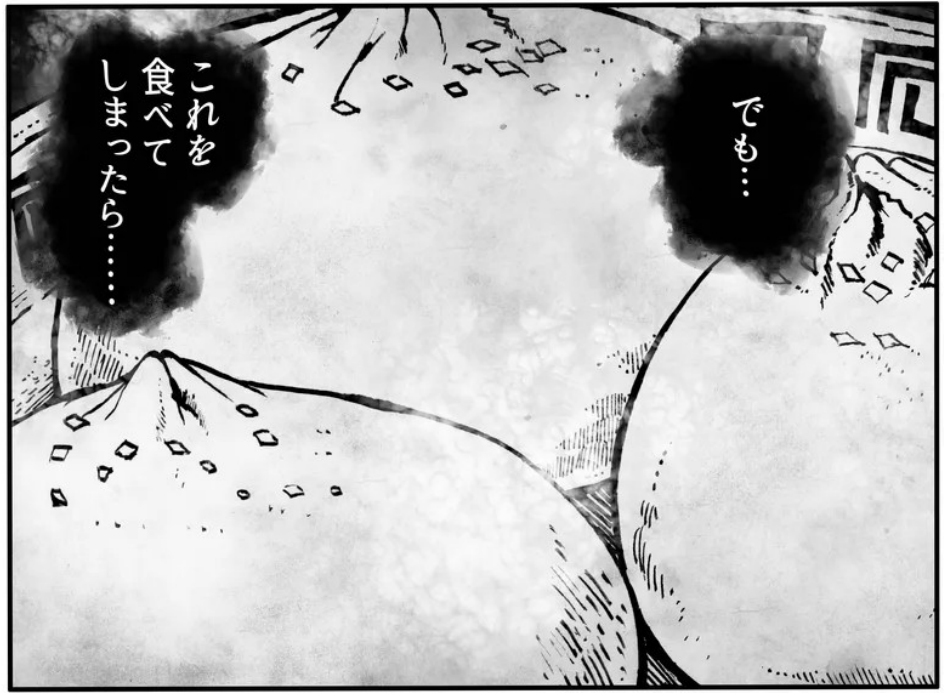






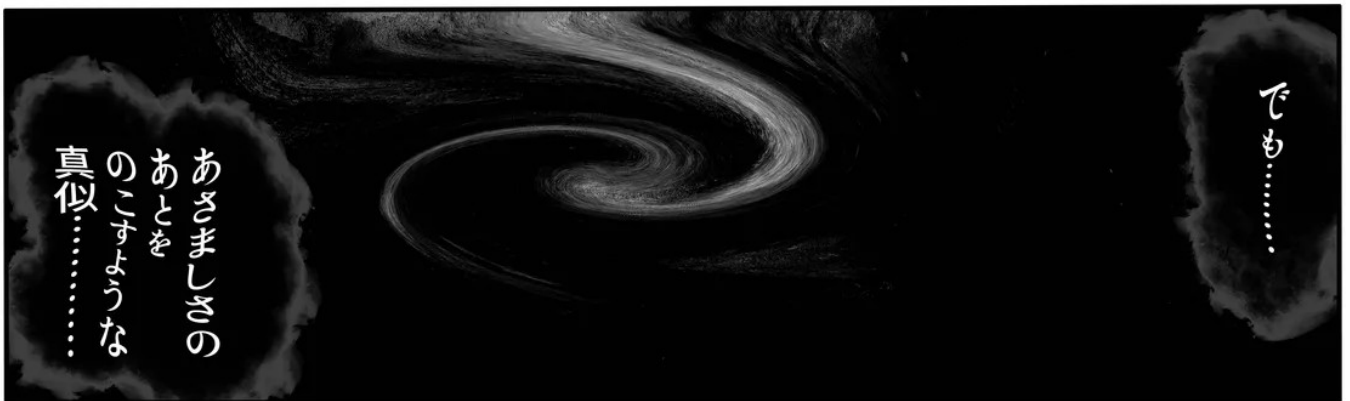
でも
.....

一口
くらい
.....



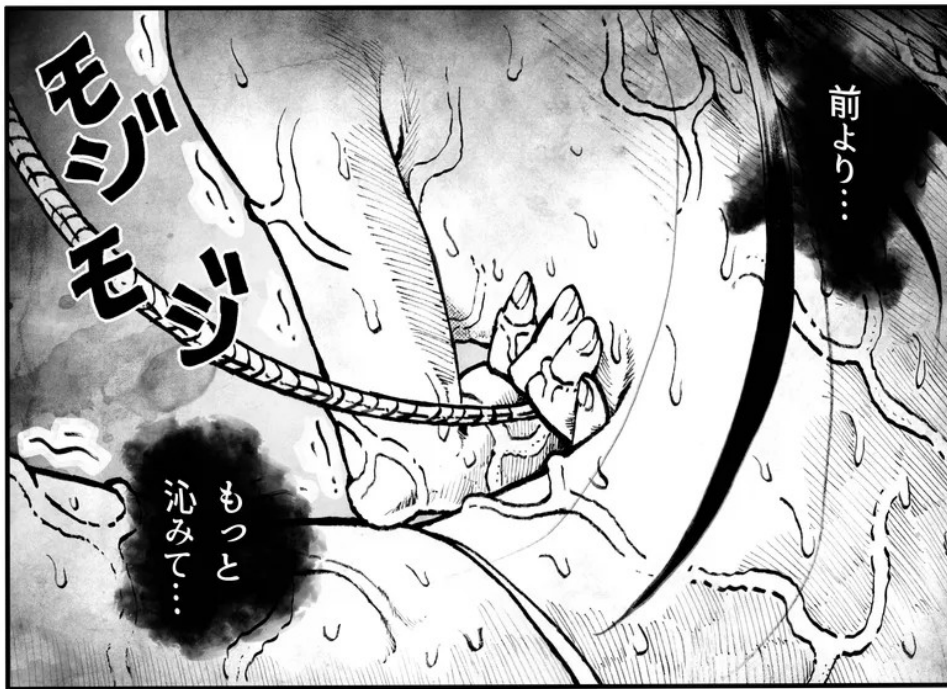
でも...

これを
食べて
しまったら.....



でも.....

あまのまじの
あとを
のこすような
真似.....





そんな
みっともない
姿になって
いまさら
外間を
気にしてるの？



がまんしたって
意味ないよ

救われる
つもりで
いるの？







